

事務連絡
令和5年8月21日

関係業界団体 各位

国土交通省海事局内航課

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について
～船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください～

国土交通行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力をいただき、御礼申し上げます。

令和5年6月2日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強力に推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。

これを受け、国土交通省海事局では、中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率の動向を調査しました。この調査は、中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和5年1～3月及び4～6月）のトラック輸送に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も随時調査を実施してその結果を公表してまいります。

- ・【中距離フェリー航路：片道の航路距離 100km 以上～300km 未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】
- ・【長距離フェリー航路：片道の航路距離 300km 以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

貴団体におかれましては、モーダルシフトの更なる推進や、いわゆる「2024年問題」対策の一助として中・長距離フェリー等を活用した輸送について検討いただけるよう、事業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

○参考：積載率70%未満であった航路

令和5年1～3月：阪神～北海道（上り下り）、阪神～北四国（上り下り）、北四国～北九州（上り下り）、京浜～北九州（上り下り）、阪神～中九州（下り）、阪神～南九州（上り下り）

令和5年4～6月：北陸～北海道（上り下り）、阪神～北海道（上り下り）、阪神～北四国（上り下り）、北四国～北九州（上り下り）、京浜～北九州（上り下り）、阪神～中九州（上り下り）

※実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

【添付資料】

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和5年1月～3月）

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和5年4月～6月）

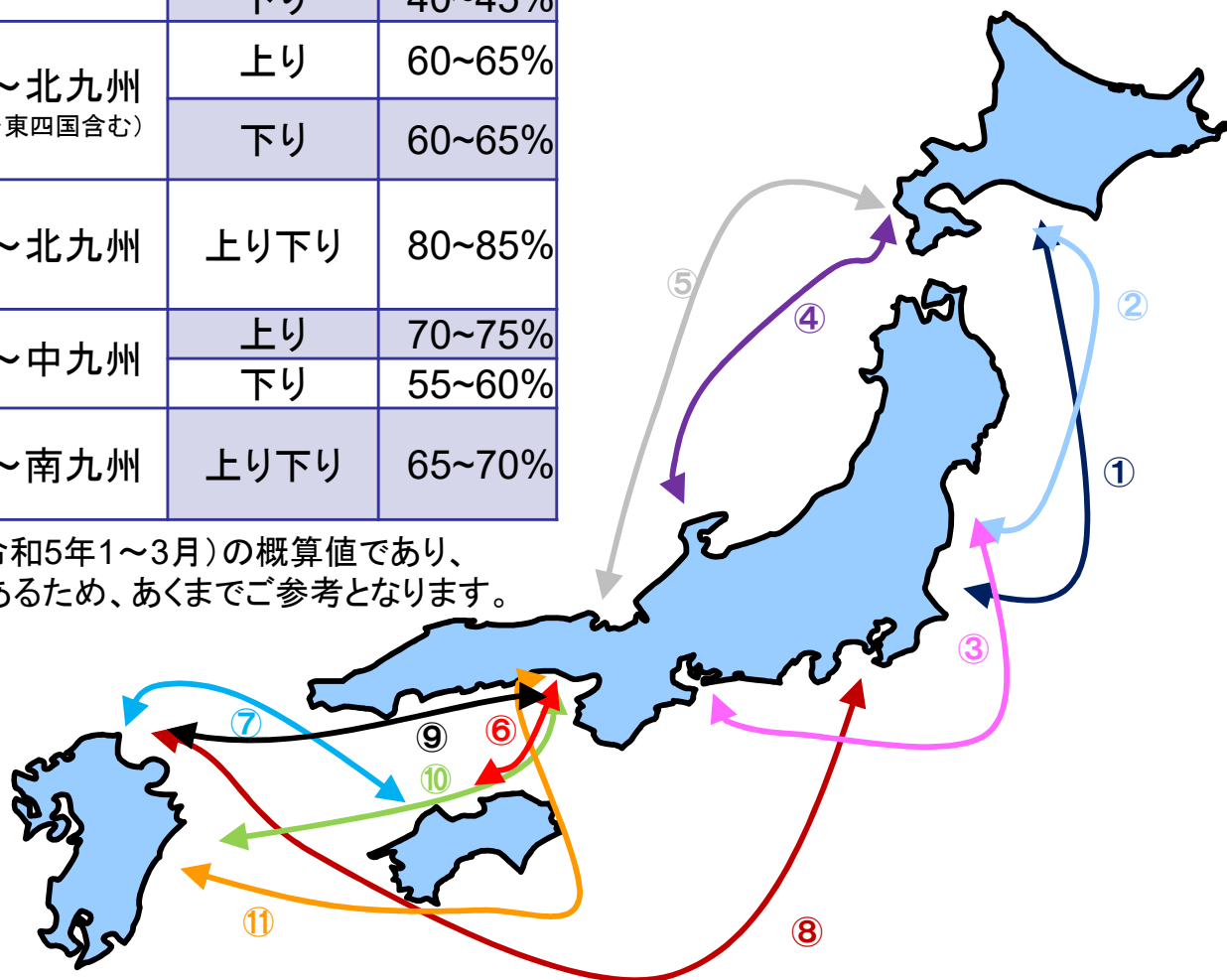
中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査しました。この情報を、いわゆる物流の「2024年問題」への対策等、今後のモーダルシフト推進に向けた検討にご活用ください。

【中距離フェリー航路: 片道の航路距離100km以上~300km未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

【長距離フェリー航路: 片道の航路距離300km以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

航路	上り/下り	積載率	航路	上り/下り	積載率
①北関東~北海道	上り	85~90%	⑦北四国~北九州	上り	30~35%
	下り	85~90%		下り	40~45%
②東東北~北海道	上り	80~85%	⑧京 浜~北九州 (一部、京浜~東四国含む)	上り	60~65%
	下り	80~85%		下り	60~65%
③中 京~東東北	上り	80~85%	⑨阪 神~北九州	上り下り	80~85%
	下り	70~75%		⑩阪 神~中九州	上り
④北 陸~北海道	上り	70~75%	下り		55~60%
	下り	70~75%	⑪阪 神~南九州	上り下り	65~70%
⑤阪 神~北海道	上り	60~65%			
	下り	55~60%			
⑥阪 神~北四国	上り下り	55~60%			

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和5年1~3月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。



【航路に関するお問合せ】

(一社)日本旅客船協会
TEL:03-3265-9693

【資料全般に関するお問合せ】

国土交通省海事局内航課
TEL:03-5253-8625(内線43-453、43-454)

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について(令和5年4~6月) 国土交通省

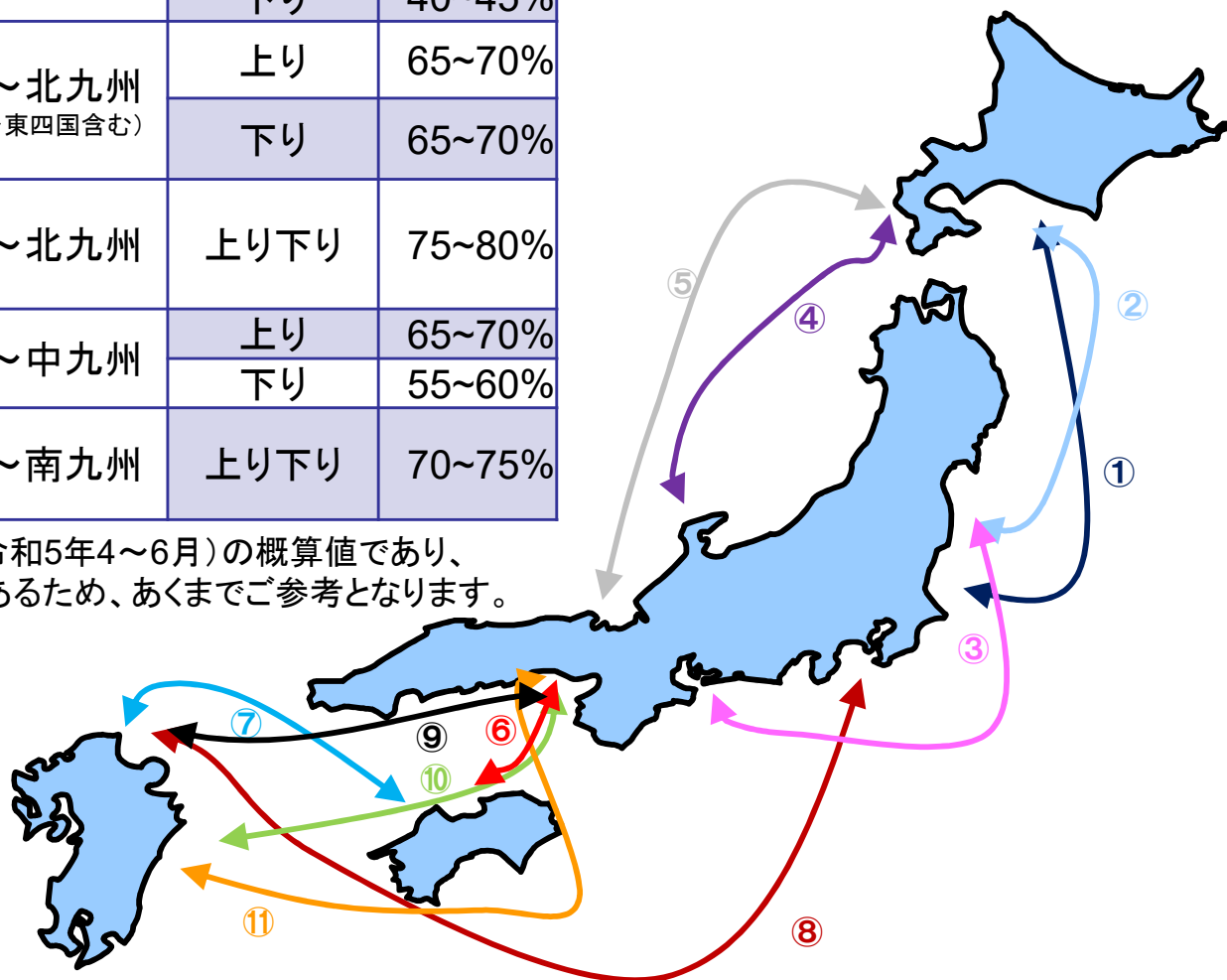
中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中のトラック輸送に係る積載率動向を調査しました。この情報を、いわゆる物流の「2024年問題」への対策等、今後のモーダルシフト推進に向けた検討にご活用ください。

【中距離フェリー航路: 片道の航路距離100km以上~300km未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

【長距離フェリー航路: 片道の航路距離300km以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

航路	上り/下り	積載率	航路	上り/下り	積載率
①北関東~北海道	上り	75~80%	⑦北四国~北九州	上り	35~40%
	下り	80~85%		下り	40~45%
②東東北~北海道	上り	80~85%	⑧京 浜~北九州 (一部、京浜~東四国含む)	上り	65~70%
	下り	85~90%		下り	65~70%
③中 京~東東北	上り	80~85%	⑨阪 神~北九州	上り下り	75~80%
	下り	90~95%		⑩阪 神~中九州	上り
④北 陸~北海道	上り	65~70%	下り		55~60%
	下り	65~70%	⑪阪 神~南九州	上り下り	70~75%
⑤阪 神~北海道	上り	55~60%			
	下り	55~60%			
⑥阪 神~北四国	上り下り	55~60%			

※上記数値はいずれも、アンケート調査を基にした対象期間中(令和5年4~6月)の概算値であり、実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。



【航路に関するお問合せ】

(一社)日本旅客船協会
TEL:03-3265-9693

【資料全般に関するお問合せ】

国土交通省海事局内航課
TEL:03-5253-8625(内線43-453、43-454)